

評価の結果に対する対応方針

(事後評価)

1. マルチモーダル交通体系の構築に関する研究

評価結果を踏まえ、研究成果についてはドキュメント化し、ホームページ等に公表し国民が問題意識として共有化できるように努めたい。

また、マルチモーダル施策に関するサービスレベルや人の主観的評価等のモニタリング調査手法、社会的効果の算定方法についても継続して検討していきたい。

さらに、物流改善効果としての環境負荷低減や複数企業の物流適正化等の分析に資するため、物流企業との情報交換のパートナーシップや物流分析のフレームワークのさらなる改善にも取り組んでいきたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分に念頭に置き、今後の研究を進めて参りたい。

2. 公共事業の総合コスト縮減効果評価・管理手法の開発

評価結果を踏まえ、収集した外部コストの計測事例をデータベースとして保管するとともに、新たに計測された事例を適宜追加し情報量を向上させるとともに、既存事例と照らし合わせて計測結果の妥当性の確認に努めたい。また、工事中の環境対策等の外部コスト評価の際には、本データベースを比較データとして提供して参りたい。さらに、本研究で開発したAHPを活用した原単位作成手法については、現場で試行し実用性および精度等の課題を確認して参りたい。

その他ご指摘いただいた事項について十分に念頭に置いた上で、今後の研究、実用に向けた取り組みを進めて参りたい。